

警 察 署 協 議 会 議 事 録

協 議 会 名	令和5年第2回宮城県亘理警察署協議会
開 催 日 時	令和5年6月29日（木） 午前10時00分から 午前11時15分まで
開 催 場 所	宮城県亘理警察署 会議室
出 席 者 等	<p>1 協議会委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出席委員～岩佐邦夫会長、上原祐子副会長、渡邊隆弘委員、 岩佐勝委員、佐藤徳美委員 ・ 欠席委員～なし <p>2 警察署側</p> <p>署長、次長兼警備課長、会計課長、警務課長、地域課長兼生活安全課長、刑事課長、交通課長、生活安全課課長代理</p>
議 事 概 要	別紙のとおり
備 考	

備考 所定の欄に記載することができないときは、別紙に記載の上、添付すること。

議事概要

第1 報告事項

1 亙理警察署管内の治安情勢について【署長】

(1) 刑法犯の認知・検挙状況（暫定値）

刑法犯認知件数（令和5年5月末現在）は、

○ 当署管内

刑法犯認知件数 103件、前年同期比 +53件

○ 県下全域

刑法犯認知件数4,457件、前年同期比+737件

となっている。

刑法犯検挙件数（令和5年5月末現在）は、

○ 当署管内

刑法犯検挙件数 24件、前年同期比 +4件

検挙人員 23人、前年同期比 +8人

○ 県下全域

刑法犯検挙件数1,929件、前年同期比+399件

検挙人員1,073人、前年同期比+179人

となっている。

(2) 特殊詐欺の被害状況（暫定値）

特殊詐欺の発生状況等（令和5年5月末現在）は、

○ 当署管内

認知件数2件、前年同期比+2件

内訳 架空料金請求詐欺 1件、被害額 80万円

金融商品詐欺 1件、被害額 737万円

○ 県下全域

認知件数135件、前年同期比+9件

主な手口 架空料金請求詐欺 64件

キャッシュカード詐欺盗 21件

還付金詐欺 14件

オレオレ詐欺 13件

預貯金詐欺 12件

となっている。

被害者の特徴は、

- ・ 65歳以上の高齢者が72.7%

・ ほとんどが、固定電話での通話から被害に遭っているというもので、固定電話対策の強化が急務となっている。

その他対策は、

- ・ 特殊詐欺電話撃退装置の貸出し
- ・ コンビニエンスストアとの連携
- ・ 手口の広報啓発

などを推進している。

議事概要

(3) 交通事故の発生状況（暫定値）

交通事故の発生状況（令和5年5月末現在）は、

○ 当署管内

人身事故 37件、前年同期比 ±0件

うち死亡事故 0件、前年同期比 ±0件

物損事故 307件、前年同期比 -3件

○ 県内全体

人身事故 1,599件、前年同期比 -92件

うち死亡事故 19件、前年同期比 +4件

物損事故 21,566件、前年同期比 -139件

となっている。

当署管内の人身事故の発生状況を分析すると

- ・ 午前11時から午後0時までの間の発生が多い
- ・ 曜日別では、火曜日の発生が多い
- ・ 発生場所は、国道6号での発生が多い
- ・ 事故形態は、「出会い頭」が多く、次いで「追突事故」が多い
- ・ 事故原因は、「安全不確認」が多く、次いで「動静不注視」が多い
- ・ 高齢者（65歳以上）による事故が多い

という特徴となっている。

2 治安情勢に対する質疑等について

○ 委員

刑法犯認知件数が増加した要因は何か。

● 署長

粗暴犯、窃盗犯、知能犯が増加傾向にある。

粗暴犯と窃盗犯の増加は、コロナ禍が明け、人の動きが活発になったことや人の交流が増えたことが一因になっていると考えられる。

知能犯は、詐欺の増加が顕著であり、顕著な増加手口としては、インターネットを利用した犯罪が増えている。

○ 委員

管内に窃盗団や凶悪な集団が入っているのか。

● 署長

そのような事実は把握していない。

最近、凶悪事件等で問題となっている、いわゆる闇バイトで、犯罪に加担しないよう防犯指導や広報活動を行っている。

○ 委員

自転車のヘルメット着用が周知されていないので、注意喚起をお願いしたい。

● 署長

ヘルメットの着用については、継続して周知、指導に努めてま

いたい。

3 亘理警察署速度取締り指針について【交通課長】

速度取締り重点区域については、

亘理地区、逢隈地区、山元地区

の3重点区域とし、重点時間帯については、交通事故発生状況や通学通勤時間を踏まえ、

- ・ 日中帯の時間

としている。

重点路線は、

- ・ 亘理地区：国道6号、県道相馬亘理線
- ・ 逢隈地区：県道塩釜亘理線、亘理大河原川崎線
- ・ 山元地区：県道相馬亘理線、町道南新田芝西線、いちご街道などとしている。

このほか、通学路において、主に通学時間帯に速度取締りを行うこととしている。

過去3年における管内の人身交通事故発生状況を説明する。

自治体別で見ると、

約80%が亘理町、約20%が山元町

となっており、路線別では

国道6号上の発生

が一番多くなっている。

人身事故の要因としては、

安全不確認

に起因する交通事故が一番多く、発生時間帯については、

- ・ 午後0時から午後2時
- ・ 午前8時から午後0時

に多く発生している傾向がある。

これらの交通事故発生状況を鑑み、上記重点時間及び路線を策定した。

そのほか、交差点における交通事故抑止を目的とした一時停止場所における指導取締りや、通学路における歩行者妨害に対する指導取締りを強化するとともに、幹線道路においては、携帯電話使用やチャイルドシートを含む座席ベルト装着義務違反に対する取締りも強化することとしている。

4 指針の趣旨説明に対する質疑等について

○ 委員

交通違反の変動や傾向等があるのか。

また、取締りにより、交通事故は減っているのか。

● 交通課長

速度取締り指針は、ホームページで公開しており、広く住民に周知している。

交通事故防止を目指し、交通取締りを実施しているが、同時に

交通環境の整備も行っている。

そのため、取締りだけの効果を数値化するのは難しい。

○ 委員

国道や県道は、整備されているが、町道の整備が遅れている感じがする。

● 交通課長

住民の方からも、同様の意見をいただいている。

そのため、問題のある道路については、その都度、道路管理者等と点検し、対応を検討している。

○ 委員

山元町と角田市をつなぐトンネル付近の道路は、スピードが出やすい。

警察署境なので、取締りは難しいのか。

● 交通課長

隣接警察署とは、連携して取締りを実施している。

貴重な意見として、今後の参考とする。

● 署長

仙南ブロック5署管内で、交通死亡事故が多発しているため、仙南ブロックが連携し、集中対策を実施している。

第2 協議事項

1 提言・意見・要望等について

○ 委員

亘理町の小学生に、「わたり交通安全防犯大使」を委嘱した取組は、良い取組である。

ぜひ、「やまもと交通安全防犯大使」の委嘱も検討していただきたい。

● 交通課長

亘理町に居住する小学生6人に、「わたり交通安全防犯大使」を委嘱し、交通安全等の広報活動の協力をいただいている。

同施策は複数のテレビ報道や新聞報道がなされ、これらの報道を見た山元町の住民からも、山元町において同じ施策の実施の要望を受けている。

そのため、既に発足に向けた協議を行っている。

○ 委員

様々な事案対策に対して、児童生徒が参加することは、幼少期から意識を高めることになるため、今後も、小中学校と連携して、啓発活動をしていただきたい。

● 生活安全課課長代理

児童生徒健全育成ボランティア「アルカス」という枠組みで、管内の中学校及び高校の生徒と協働して、痴漢撲滅の広報活動等の防犯対策を行っている。

○ 委員

春の交通安全運動期間中、交通指導隊、地域の役員、子供会の

議事概要

保護者等も街頭指導をしていた。

車を運転したとき、交差点の端で旗を持つ方がいて、交通指導隊の方は道路の中に入って、児童を誘導しているという場面に遭遇したが、運転をしていて、どこを見てよいか戸惑うことになったので、分かりやすい誘導等の指導をお願いしたい。

● 交通課長

期間中、当署員も街頭活動をしており、危険な場合、注意指導をさせてもらっている。

今後も、交通安全指導隊の管理主体である各町と連携して、交通安全運動に努めてまいりたい。

○ 委員

役場周辺などの新しくできた地区や道路では、優先道路が分かりにくく、かなりの速度で走行する車両を見かけて危険である。標識設置等の対策をお願いしたい。

● 交通課長

役場周辺道路は、逢隈地区からの近道となっており、交通量が多く、スピード超過や信号機の設置のない交差点での事故の危険性が懸念される。

そのため、関係機関と連携して交通環境の整備や警戒活動の強化に努めてまいりたい。

○ 委員

特殊詐欺被害の件数や被害金額が減らない現状に、強固な対策の必要性を感じる。

もっとわかりやすい様々な事例を紹介する広報を行ったらよいのではないか。

● 生活安全課課長代理

住民一人一人が、特殊詐欺の手口について知っていることは極めて重要であり、知識があるからこそ、自衛につながる。

当署では、各種啓発チラシの配布や防災無線を用いた注意喚起、町の広報紙等への掲載依頼等を随時行っている。